

平成20年度技術講習会

経験豊富で知識・技能に優れたベテラン職員がいずれ職を去っていくことが予測され、次代の電気設備業界の中核を担う人材育成が求められている中、基礎知識・技術から最先端技術までニーズに即した講習を行い会員の技術力のアップを図るため計画的に講習会を開催することとしています。

本年度も(社)日本電設工業協会の人材確保・育成の補助メニューを活用して2コース実施されました。

第1回目の講習会は施工図に焦点を当てた内容とし、平成20年7月5日(土)午後1時15分から5時までJR姫路駅南すぐの西播地域地場産業振興センター(じばさんビル)601会議室で開催しました。

講師は日電協から同協会の会員企業である栗原工業(株)の技術統括部技術部次長の山口博氏が派遣されました。

山本守技術・安全副委員長の挨拶で開会し、山口部長の講義に入りました。資料として「新編 電気設備工事 施工図の書き方」をテキストとして使用する予定でしたが、在庫不足のため同テキストから抜粋した内容をコピーした冊子と併せて講師が用意されたパワーポイントが使用されました。

内容は、①発注側監理者が施工図に期待すること、②電気設備の施工図、③電気設備施工図作成要領、④建築設計図の見方と建築施工図、⑤空調設備設計図の見方と施工図、⑥給排水・衛生設備設計図の見方と施工図、⑦搬送設備設計図の見方と施工図、と幅広く、4時間という長時間の講習となりました。

土曜日の午後にもかかわらず30名の定員に対し、会員企業から中堅職員や若手中心に50名の職員が参加され、参加者は熱心に講義に聞き入っていました。

第2回目は、高圧受変電設備に焦点を当てたテーマとし、9月6日(土)午後1時30分から4時40分まで三宮研修センター901号で開催しました。講師は同じく日電協から住友電設(株)技術本部技術部部長の鹿野秀一氏が派遣されました。山口委員長の挨拶を皮切りに始まった講習会は、今回も定員を超える35名が受講、日電協発行の「高圧受変電設備の計画・設計・施工」のテキストと併せて使用したパワーポイントによる要点をついた説明により充実した内容の講習会となりました。



第1回目の講習会会場



山口講師による講義



第2回講習会会場



鹿野講師による講義